

平成 29 年度 事業報告

公益財団法人 消費者教育支援センター

平成 29 年度 事業報告

消費者教育の総合的かつ効果的な推進を図るため、消費者教育関係機関との協力により、1. 調査研究、教材作成、広報事業 2. セミナー事業 3. 表彰事業 4. 賛助会員向け事業を実施した。

1. 調査研究、教材作成、広報事業

① 消費者教育の調査研究

ア 客員研究員との研究会の開催

消費者教育支援センターが行う調査研究や教材作成等の質的な充実を図るため、消費者教育の研究に取り組む大学の教授や学校の教員等 7 名を客員研究員に委嘱し、研究会を 2 回（7 月 27 日、3 月 8 日）開催した。研究会では、国内外の学校における消費者教育の現状や課題等について報告・意見交換を行った。

客員研究員は下記のとおり。

西村 隆男	横浜国立大学名誉教授、前 日本消費者教育学会長
李 賢眞	韓国誠信女子大学助教授
鎌田 浩子	北海道教育大学教授
齋藤 世利子	柏市立柏第三小学校校長
庄司 佳子	千葉県消費者教育コーディネーター
横山 和子	前 東松山市立大岡小学校校長
安原 輝彦	埼玉大学教育学部教育実践総合センター教授

イ 埼玉県「消費者教育コーディネーター設置検討ワーキング業務」

埼玉県の消費者教育推進計画（消費生活基本計画）に基づき、主に学校での消費者教育を推進するための「消費者教育コーディネーター」の設置と役割を検討するためのワーキングを実施した。ワーキングメンバーは、消費者教育に造詣のある有識者、県教育委員会、学校関係者、消費生活相談員等で構成し、5 回の検討会を実施した。検討会では、岩手県や岡山県で活動している消費者教育コーディネーター（消費者教育推進専門員）についてのヒアリングを行い、小・中学校での授業や教員研修等の現状を踏まえ、コーディネーターに期待する主な役割と設置方法、支援方策について取りまとめを行った。また、消費者教育コーディネーターが関わることになる県内学校との連携、研究校等の具体的な事業について、検討を行った。

ウ 兵庫県「消費者教育推進計画改定に係る調査・分析事業」

兵庫県における消費者教育の推進に関する条例に基づき策定した「兵庫県消費者教育推進計画」の改訂にむけて必要な調査・分析等を行った。具体的には、兵庫県内のすべての小・中・高校、特別支援学校に対するアンケート調査・集計・分析、姫路市教育委員会及び学校、県内事業者に対するヒアリング等を実施し、資料を作成した。また、消費者教育推進企画検討会（平成 29 年 7 月 7 日、10 月 3 日）に出席し、調査結果に基づき計画改定に向けた意見を述べた。

エ 鳥取市「消費者教育推進支援業務」

平成 28 年度に消費者教育あり方検討に基づき、鳥取市における消費者教育を効果的に推進するため、関係者に対する啓発の実施、消費者教育推進のための研修等を実施した。

具体的には、事業者、事業者団体、高齢者の見守り関連団体等に対し、連携して消費者教育を推進する意義等についてヒアリングを通じて啓発することや、高齢者の見守り関係者に対する講義を実施した。鳥取市は平成 29 年度に消費者教育推進計画を策定した。

オ 近江八幡市「保護者・子ども・地域における消費者教育推進業務」

昨年度の消費者教育のあり方検討の結果を受け、より具体的な事業を多用な担い手により実施することを目的に、教員向け消費者教育研修会と親子向け消費者教育体験型プログラムを行った。

① 教員向け消費者教育研修会

市内の小・中学校の教諭に対し、消費者教育の共通理解や関心を深めてもらうため、4 回の研修を実施した。1 回目は 6 月 27 日、市内校園所長研修会において、西村隆男横浜国立大学名誉教授（当センター客員研究員）を講師に、「消費者教育推進法が求める消費者教育」の講義を行った（参加者 23 名）。

2 回目は 8 月 1 日、2 日、3 日に、市内の園・小・中学校の教諭を対象にした 3 時間の消費者教育研修会を開催した。市内の小学校や中学校を会場として、西村隆男横浜国立大学名誉教授（当センター客員研究員）と小林知子当センター研究員を講師に、講義及びワークショップを行った。ワークショップでは、これまでの授業や活動の中から「消費者」の視点をもった授業を振り返り、子ども達が消費者として自立するためにどのような学習が必要かを考えるものとした。

3 回目は 8 月 21 日に、近江八幡市教育研究所主催平成 29 年度保育・授業力アップ講座「ネタの種講座」の 1 コマとして、庄司佳子千葉市消費者教育コーディネーター（当センター客員研究員）を講師に、「主体的・対話的で深い学びと消費者教育」の講義を行った（参加者 15 名）。

4 回目は 11 月 13 日に、近江八幡市学校支援地域本部学校支援地域コーディネーターの研修会において、柿野成美当センター総括主任研究員を講師に、「新学習指導要領の重要事項！消費者教育の考え方・進め方」の講義を行った（参加者約 15 名）。

②親子向け消費者教育体験型プログラム

実行委員会を設置し6名に委員を委嘱した。5回の実行委員会（6月13日、7月31日、9月4日、11月20日、2月8日）でプログラムを検討し、12月3日に「親子で探る体験ツアー 近江八幡の食のヒミツ」を開催した。当日は親子20組が参加し、子ども達はバスに乗り、「SDGs こども特派員」になって生産者の想いやこだわりを取材し、新聞記事にまとめた。取材先は、近江八幡市に本社があるたねやにおいてバームクーヘン職人やたねや農藝のよもぎ生産者、有機野菜の生産者、こだわりの弁当生産者を対象とした。新聞記事は近江八幡市 KODOMO 消費者新聞第4号（新春スペシャル号）として印刷し、市内の小学生全員に配布した。当日の様子は、地元ケーブルテレビが取材し広く広報されると共に、当センター機関紙「消費者教育研究」186号に掲載した。

カ 近江八幡市「消費者被害防止に向けた地域密着型事業」

平成28年度の消費者教育のあり方検討会において、地域の団体と消費生活センター、関係団体が連携し、地域の特色に応じた消費者被害対策を考えて実行していく仕組みが必要であると提言を受けたことを踏まえ、市内桐原地区をモデル地区として、高齢者の消費者被害防止の事業を実施した。市レベルでの実行委員会と桐原地区内に「消費者被害見守りプロジェクト・チーム」を設置した。プロジェクト・チームでは、第一段階として、弁護士から高齢者の消費者被害の実情と、桐原地区に隣接する野洲市くらし支えあい条例により訪問販売事業者が登録制になっている実態を聞き、地域の見守りの重要性について理解を深めた。検討の結果、見守りに参加する人が固定化されており、新たな参加者を求めたいという声を受け、小学生を対象に行っている子ども食堂の場で、見守りの協力を呼びかける方法をとった。この企画は、近江八幡市がSDGs（持続可能な開発目標）を推進していることから、「SDGs こども見守り隊」と名付け、桐原小学校、桐原東小学校2か所において「きりっこキッズ見守り隊」として寸劇等を行い、地域の高齢者にメッセージカードを渡す企画とした。次年度以降この成果を検証し、市内での展開を検討する。

キ 米沢市「消費者教育推進業務」

①高齢者の消費者被害防止地域ネットワーク推進業務

昨年度に引き続き、米沢市の高齢者消費者被害防止地域ネットワークの構築を推進する実行委員会に参加し（6月23日、2月14日）、認知症サポーター養成の枠組みを参考に、消費者啓発活動の講師役となる「消費者見守りメイト」の養成講座の企画・運営を行った（開催日：7月21日）。また、「消費者見守りメイト」が実施する啓発講座の支援として、緑色のリストバンドと見守りガイドブックを受講者に配布し、「消費者見守りサポーター」として地域での高齢者の見守り活動ができるように支援した。さらに、昨年度と今年度に「消費者見守りメイト」になった方を対象として、「消費者見守りメイトフォローアップ講座」を10月16日に開催し、消費者被害の最新情報や新教材の活用等について情報提供すると共に、普段の活用の様子等について意見交換する機会を設けた。

②学校と地域の連携による消費者教育支援業務

子どもたちの消費者教育を学校、家庭、地域等の各主体の連携・協働事業として実施し、消費者教育の広がりにつなげていくことを目的として新規事業を立ち上げた。公募参加の市民によって実行委員会（9月1日、2月14日）を立ち上げ、ワークショップを通じて、紙芝居の作成を行った。実行委員会は「エシカル Yonezawa」として自立的に活動し、紙芝居「んまいものにはワケがある おいしいも煮がとどくまで」という生産者の想いや願いに気づき、郷土を大切にする気持ちを育てる内容として完成した。紙芝居の制作には、メンバーの一人であったちぎり絵作家の監修を得て、すべてちぎり絵の手作業で作られ、芸術性も高い。制作発表イベントは、2月4日に米沢市図書館において行われ、豪雪の中のべ50名が来場した。紙芝居は実行委員会メンバーに手渡され、学校での読み聞かせボランティア等さまざまな場面で活用される。

③消費者教育支援業務

平成26年度に実施した「消費者教育の推進に係る支援業務」を受け、学校における消費者教育の支援として、5月17日に平成29年度山形県高等学校教育研究会家庭・福祉部会置賜支部研修会において、当センター総括主任研究員柿野成美を講師に高等学校の家庭科担当教員を対象に研修を実施した。また、参加者のうち希望校に対して、「エシカルアクションガイドブック私たちの行動が未来をつくる めざせ！消費者市民」を配布すると共に、活用方法等についてアンケート調査を実施した。また、昨年度中学校に配布した教材「消費者アクションゲーム」の活用実態等について引き続き調査した。これらの結果を受け、今後の支援策について報告書にまとめた。

② 消費者教育教材の作成

ア 兵庫県「高等学校における消費者教育推進に係る委託事業」

平成 28 年度に実施した高等学校における消費者教育モデル授業を受け、今年度は 5 校がモデル校として設定された。実践に向けた支援を行うため意見交換会（平成 29 年 8 月 16 日）に出席し、助言を行うと共に、10 月 4 日には県立夢野台高等学校の授業実践の見学、1 月 31 日には高等学校教育研究会家庭部会における発表支援及び全体講評を行った。また、「兵庫県消費者教育モデル授業事例集」として取りまとめた（A4 サイズ、64 ページ、印刷部数 500 部）。事例集は兵庫県内の高等学校に配布された。

イ 浜松市「高等学校家庭科教員向け消費者教育教材開発事業」

高校生期における消費者教育の充実を図るため、高等学校消費者教育教材『消費者市民になろう！—公正で持続可能な社会をめざして—』を制作した。教材開発は、浜松市内の高等学校教諭 4 名（家庭科、公民科、商業科）と浜松市消費者教育推進地域協議会の法曹関係者 2 名によって構成される「浜松市消費者教育教材作成プロジェクト」によって台本検討、指導ガイドの検討を行った。撮影は全て浜松市内で市民の協力により行った。

映像教材は大きく 2 部構成になっており、内容は以下の通りである。

■契約編

1. 契約の基礎知識（4 分 27 秒）
2. インターネット販売（3 分 43 分）
3. 自己啓発セミナー（4 分 20 秒）
4. 相談したいときには（1 分 10 秒）

■フェアトレードタウン浜松編

1. フェアトレードって知っていますか？（5 分 14 秒）
2. 消費の裏側にある問題と SDGs・エシカル消費（1 分 49 秒）
3. 身近にある取り組み（7 分 38 秒）
4. 私たちにできること（59 秒）

映像の他に、教師用の指導ガイド（80 ページ程度）を作成し、消費者教育の基本的な考え方、教材の活用と授業実践について（家庭科、公民科、商業科）、授業実践のための基礎知識と解説が掲載されている。

教材は、浜松市内及び静岡県内の高等学校に配布すると共に、映像と指導ガイドはそれぞれ浜松市の Web サイトに掲載された。

ウ 大分市「大型紙芝居（大分市版）2種作成業務」

幼児向けと小学校低学年向けに2種類の大型紙芝居を作成するため、大分市で啓発活動を行っている消費者団体リーダーが参加する検討会を2回実施し、内容・構成を検討した。紙芝居のデザインには、大分市ライフパルのマスコットキャラクター「パルクん」を使用し、子どもが興味を引くデザイン、内容を工夫した。各紙芝居の活用法を掲載した「活用マニュアル」（解説書）も2種作成した。

エ 大分市「高齢者見守りチェックシート（大分市版）作成業務」

高齢者世帯及び高齢者を見守る方を対象とする小冊子を1,500部作成した。高齢者に多い悪質商法・契約トラブルの事例をまんがで紹介し、見守りの方法や相談につなげるチェックシートをイラスト入りで収録した。

③ 消費者教育に関する広報

ア 機関誌『消費者教育研究－NICE ニュースレター』の発行

消費者教育に関する最新の情報を盛り込んだ専門情報誌として、隔月で発行。学校の教員等による研究論文や教育実践の報告、消費者教育に関する教材資料やセミナーについての情報を掲載し、全国の県市町の教育委員会や消費者行政部局、消費生活センター、消費者教育を実践している教員等に無償配布した。

発行：隔月で年 6 回発行
年間購読料：個人 2,000 円、法人 3,000 円

<消費者教育研究 186 号（2018 年 2・3 月号）の掲載内容>

消費者教育親子体験型プログラム 親子で探る体験ツアー ～近江八幡の食のヒミツ～
今日からキミは『近江八幡市 SDGs 子ども特派員』だ！

近江八幡市 市民部人権・市民生活課 三浦 薫

参加者募集 “第 1 回”消費者教育実践セミナーのお知らせ
子どもに対するマーケティングと消費者教育

関東学院大学経営学部 准教授 天野恵美子

浜松市小学校家庭科研究部における消費者教育教材開発と活用に向けて
5 年「筆箱を選ぼう」 6 年「じゃがいもを選ぼう」

浜松市立和地小学校 教諭 増井 葉子

授業実践報告 持続可能な社会に向けた高等学校家庭科「家庭基礎」における ESD の授業実践 ～「私たちの行動が未来をつくる」を活用して～

三重県立神戸高等学校 教諭 三徳ゆかり

国における消費者教育の動き
消費者庁・文部科学省 他

イ ホームページによる情報提供

トップページに新着情報を掲載し、ページ上段の大きな画像バナーを活用して、消費者教育シンポジウムや消費者教育教材資料表彰の告知、新しい教材資料の案内等をわかりやすく掲載した。シンポジウムやセミナーの申込みの受け付けにも活用し、教材資料は、出版物のページで概要・目次を紹介し、Web 上で購入することができる。

2. セミナー事業

① 消費者教育シンポジウムの開催

学校の教員や消費者団体、企業職員・消費者行政担当職員が、消費者教育の役割や必要性について理解を深めるとともに、消費者教育の具体的な進め方を考えるためのシンポジウムを開催した。実施概要は下記のとおり。

日 時：平成 29 年 6 月 26 日(月) 10:30~16:30

場 所：国立オリンピック記念青少年総合センター

テーマ：学校における消費者教育の最前線一次期学習指導要領の実施に向けて―

後 援：消費者庁、文部科学省、(独)国民生活センター、(公社)消費者関連専門家会議、
日本消費者教育学会

協 賛：(一財)パロマ環境技術開発財団

参加者：184 名

参加費：無料

<プログラム>

10:10~10:30 受付

10:30~10:40 開会 主催者挨拶

【第Ⅰ部】消費者教育教材資料表彰 表彰式

10:40~10:55 【表彰式】内閣府特命担当大臣 松本 純

10:55~12:00 【受賞代表によるプレゼンテーション】

最優秀団体、優秀賞代表(企業、行政、消費者団体)

12:00~13:00 昼食 - 優秀賞受賞作品の展示・情報交換 -

【第Ⅱ部】「学校における消費者教育の最前線」

13:00~13:50 【基調講演及び教材資料表彰選考結果講評】

「これからの学校における消費者教育のあり方」

椋山女学園大学教授 日本消費者教育学会会長 東 珠実

13:50~14:30 【報告①】

「次期学習指導要領における消費者教育及び教育委員会調査の結果報告」

文部科学省初等中等教育局教育課程課課長補佐 小林 努

14:30~14:45 一休憩―

14:45~15:40 【報告②】―「学校園消費者教育指針」にもとづく全市的な取組

「姫路市教育委員会が進める消費者教育」

姫路市教育委員会管理指導主事 北村 純一

「姫路市実践推進校による取組報告」

姫路市立豊富中学校教諭 柏木 麻里・坪内 明子

15:40~16:30 【フロアーとの意見交換】

16:30 閉会挨拶

② 消費者教育実践セミナーの開催

平成 29 年 3 月に告示された新学習指導要領において、消費者教育が重要事項として位置づけられたことを受け、教員の指導力向上を目的として、今年度の新規事業としてセミナーを開催した。筒井恭子文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官の基調講演、小中学校の教員による実践報告の後、指導案開発のワークショップを行い、消費者教育の最新情報と指導方法について学ぶと共に、相互のネットワークを構築した。

日 時：平成 30 年 3 月 26 日(月) 13:00～16:40

場 所：全国婦人会館 2 階会議室

共 催：全国小学校家庭科教育研究会、全国中学校技術・家庭科研究会、
全国高等学校長協会家庭部会

参加者：40 名

参加費：無料

<プログラム>

- 13:00～13:05 開会挨拶 (公財) 消費者教育支援センター理事長 櫻井 純子
- 13:05～13:10 オリエンテーション
- 13:10～14:10 基調講演 家庭科教育における消費者教育—新学習指導要領を踏まえて
文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官
国立教育政策研究所教育課程研究センター教育課程調査官 筒井 恭子
- 14:10～14:15 休憩
- 14:15～14:45 【実践報告 1 (小学校家庭科)】
消費者教育教材キットを使った実践事例
～第 5 学年「筆箱を選ぼう」、第 6 学年「じゃがいもを選ぼう」
静岡県浜松市立和地小学校教諭 増井 葉子
- 14:45～15:15 【実践報告 2 (中学校技術・家庭科家庭分野)】
「消費者の権利と責任」に関する“深い”理解を目指した実践
大阪府吹田市立豊津西中学校教諭 村田晋太郎
- 15:15～15:25 休憩
- 15:25～16:10 【ワークショップ】消費者教育の指導案を考えよう！
助言者)
静岡県浜松市立和地小学校教諭 増井 葉子
大阪府吹田市立豊津西中学校教諭 村田晋太郎
消費者教育支援センター総括主任研究員 中川 壮一
消費者教育支援センター総括主任研究員 柿野 成美
- 16:10～16:40 発表・講評

③ 高等学校の教員を対象とした消費生活・生活設計セミナーの開催

平成 28 年度に（公財）生命保険文化センターと実施した「高校生の消費生活と生活設計に関するアンケート調査」を高等学校の学習指導に役立てていただくことを目的として、高等学校の教員を対象とした「消費生活・生活設計セミナー」を開催した。

日 時：平成 29 年 6 月 10 日（土） 13：30～16：30
場 所：東京都千代田区丸の内 3-4-1 新国際ビル 3 階
名 称：消費生活・生活設計セミナー
参加者：29 名
対 象：高等学校教員
参加費：無料

<プログラム>

13：30 開講
13：35 基調講演「高校生が陥りやすい最近のインターネットトラブルについて」
（一社）EC ネットワーク理事 原田 由里
14：25 「高校生の消費生活と生活設計に関するアンケート調査（第 2 回）」
結果から見る高校生の現状
消費生活分野：（公財）消費者教育支援センター 野中 奈美
生活設計分野：（公財）生命保険文化センター 高須 周作
14：55 休憩
15：05 消費生活・生活設計当に関する学校教材報告
消費生活分野：（公財）消費者教育支援センター 中川 壮一
生活設計分野：（公財）生命保険文化センター 高須 周作
16：25 閉講

④ 子育て世代を対象とした「くらしとお金の教室」の開催

外資系金融機関であるシティ（シティ・ファンデーション）の助成、（公社）沖縄県母子寡婦福祉連合会の協力、沖縄県、コープおきなわの後援のもと、子育て世代を対象とする金融教育プログラムである「くらしとお金の教室」を実施した。カリキュラム内容や実施方法等を検討する委員会を3回開催し、教室（セミナー）は那覇市、うるま市、浦添市、豊見城市の4市で計9回開催した。

検討委員会の委員は下記のとおり。

委員長 小那覇 涼子 （公社）沖縄県母子寡婦福祉連合会
マザーズスクエアゆいはあと統括責任者
委員 青山 喜佐子 特定社会保険労務士、ファイナンシャルプランナー
慶田城 裕 ファイナンシャルプランナー
名城 佳枝 ファイナンシャルプランナー

<プログラム内容>

10月20日（金） 会場：県男女共同参画センター（ていりるる）

10：15-11：45	私の社会保険と年金はどうなるの？ 年金定期便の読み解き方	社会保険労務士、ファイナンシャルプランナー 青山喜佐子
-------------	---------------------------------	--------------------------------

10月21日（土） 会場：浦添市てだこホール

10：30-12：00	私の社会保険と年金はどうなるの？ 年金定期便の読み解き方	社会保険労務士、ファイナンシャルプランナー 青山喜佐子
13：00-14：30	家計の見直し術 簡単ファイル管理術の実践法	ファイナンシャルプランナー 名城 佳枝
14：45-15：45	個別相談（年金）	

11月24日（金） 会場：県男女共同参画センター（ていりるる）

10：30-12：00	事故への備えはできていますか？ 愛車にかかるお金の話	ファイナンシャルプランナー 福田 昌也
-------------	-------------------------------	------------------------

11月25日（土） 会場：うるま市健康福祉センター（うるみん）

10：30-12：00	事故への備えはできていますか？ 愛車にかかるお金の話	社会保険労務士、ファイナンシャルプランナー 青山喜佐子
13：00-14：30	家計の見直し術と学資保険のお話 簡単ファイル管理術の実践法	ファイナンシャルプランナー 名城 佳枝 ファイナンシャルプランナー 福田 昌也
14：45-15：45	個別相談（保険、家計）	

12月15日（金） 会場：沖縄県総合福祉センター

10：30-12：00	どのくらいかかるの？子どもの教育費 家計とライフプランの見直しポイント	ファイナンシャルプランナー 慶田城 裕
-------------	--	------------------------

12月16日（土） 会場：豊見城市立中央公民館

10：30-12：00	どのくらいかかるの？子どもの教育費 家計とライフプランの見直しポイント	ファイナンシャルプランナー 慶田城 裕
13：00-14：30	リボ払いに頼っていませんか？ カードやローンの本当に賢い利用法	司法書士 安里 長従
14：45-15：45	個別相談（家計）	

平成30年1月26日（金） 会場：県男女共同参画センター（ていりる）

10：30-12：00	病気や万への備えはできていますか？ 公的保障制度の活用と保険の見直し	ファイナンシャルプランナー 米須 力
-------------	---------------------------------------	-----------------------

1月27日（土） 会場：沖縄産業支援センター

10：30-12：00	親子で学ぶ！暮らしとお金のワークショップ	ファイナンシャルプランナー 名城 佳枝 ファイナンシャルプランナー 佐々木かおり
13：00-14：30	これだけは知っておこう！ 子どもの養育費・教育費	ファイナンシャルプランナー 慶田城 裕
①13：00-14：00 ②14：45-15：45	個別相談（保険、家計）	

2月10日（土） 会場：P's SQUARE（浦添市）

13：00-15：00	講演会 しあわせ家計をつくる！ 負担増社会だからこそ「お金」もあって 「幸せ」に生きよう	ファイナンシャルプランナー 八ツ井 慶子
-------------	--	-------------------------

⑤ 消費生活相談員を対象とした研修会の開催

- ア (公社)全国消費生活相談員協会九州支部の協力、(一財)パロマ環境技術開発財団の協賛により講座を開催し、49名が受講した。

開催日：平成29年9月16日(土)

場 所：福岡市健康づくりサポートセンター研修室A

<プログラム>

「消費者事故の現状－安全の確立から安心へ－」

明治大学名誉教授 向殿 政男

「これからの消費生活相談員に求められるもの－経験と事例を通して－」

(独)国民生活センター 相談情報部総括主任相談員 吉松 恵子

- イ 中部シニアライフアドバイザー協会、(公社)全国消費生活相談員協会中部支部高齢者問題研究会との共催、(一財)パロマ環境技術開発財団の協賛により講座を開催し、53名が受講した。

開催日：平成30年3月3日(土)

場 所：ウィルあいち 第5会議室

<プログラム>

「失敗しない終活に備えて－トラブルから学ぶ法律知識－」

弁護士 安彦 和子

「消費者事故の現状－安全の確立から安心へ－」

明治大学名誉教授 向殿 政男

- ウ 特定非営利活動法人消費者センター沖縄の協力、日本アムウェイ合同会社の協賛のもと、下記カリキュラムによる研修会を沖縄で開催し、51名が受講した。

開催日：平成29年11月18日(土)

場 所：沖縄県教職員共済会館 八汐荘 中会議室

<プログラム>

「決裁手段をめぐる消費者トラブルと相談対応」

山本国際コンサルタンツ 代表 山本 正行

「インターネット・スマートフォンの消費者トラブルと相談対応」

(一社)ECネットワーク理事 原田 由里

「消費生活相談員の心構え」

元(公社)全国消費生活相談員協会九州支部長 原 まさ代

「①最近の金融商品のトラブルと相談対応」

「②遺言書の書き方と相続税の改正と税金」

弁護士 安彦 和子

⑥ 消費者教育に関わる研修会の企画運営

地方自治体等から消費生活・消費者教育に関わる研修会の企画運営業務を受託して、研修会を開催した。研修会の開催にあたっては、カリキュラムの企画・立案、講師の調整・依頼、案内チラシの作成・配布、会場の設営、当日の受付・進行・記録、アンケートの取りまとめ、報告書の作成等の業務を実施した。受託事業の概要は下記のとおり。

ア 神奈川県 「消費者教育講師養成講座/担い手連携・協働交流会」

神奈川県民を対象に、地域での消費生活に関する啓発講座を実施する担い手の育成を図る「講師養成講座」を開催した。また、地域で消費者教育の担い手の技量を磨き、連携・協働するための「消費者教育担い手連携・協働交流会」を開催した。

開催日：【消費者教育講師養成講座】

平成 29 年 11 月 11 日(土)、11 月 25 日(土)、12 月 9 日(土)

【消費者教育担い手連携・協働交流会】

平成 30 年 2 月 17 日(土)

場 所： かながわ県民センター13階 消費者教育課研修室

【消費者教育講師養成講座プログラム】

日時		テーマ	講師
11月11日 (土)	10:00～ 12:00	【講義】 身近な生活から考える消費者教育	椙山女学園大学教授 日本消費者教育学会会長 東 珠実
	13:00～ 14:40	【講義・演習】 講座の企画と組み立て方	(公財)消費者教育支援センター 研究員 小林 知子
	14:40～ 15:00	グループでの話し合い	(公財)消費者教育支援センター 研究員 小林 知子
11月25日 (土)	10:00～ 12:00	【講義・演習】 効果的な伝え方	キャリアカウンセラー 消費生活アドバイザー 大川 一郎
	13:00～ 14:45	【講義・演習】 ワークショップに挑戦しよう！	生活経済ジャーナリスト あんびる えつこ
	14:45～ 15:00	グループでの話し合い	(公財)消費者教育支援センター 研究員 小林 知子
12月9日 (土)	10:00～ 12:00	【演習】 みんなでつくろう！参加型講座プラン①	(公財)消費者教育支援センター 総括主任研究員 中川 壮一 研究員 小林 知子
	13:00～ 15:00	【演習】 みんなでつくろう！参加型講座プラン②	

【消費者教育担い手連携・協働交流会 プログラム】

日時		テーマ	講師
平成 30 年 2 月 17 日 (土)	14:00～ 14:05	【オリエンテーション】 消費者教育ってこんなこと！	(公財) 消費者教育支援センター 総括主任研究員 中川 壮一
	14:05～ 15:05	【取組報告】 消費者教育に取り組む団体による報告	・Cの会（高齢者の消費者被害防止活動等） 矢野 裕美 ・Safety Kids いずみ（子どもの安全教育等） 太田由紀枝 ・株式会社 LIXIL 品質企画室 消費者コミュニケーション担当 （製品安全教育等） 千代 勉
	15:05～ 15:20	【取組報告】 神奈川県取組	県消費生活課 職員
	15:25～ 16:30	【ワールドカフェ】 地域で消費者教育をはじめるアイデアを出し合おう！	(公財) 消費者教育支援センター 研究員 小林 知子
	16:30～ 17:00	【講評・まとめ】 これから地域で消費者教育に取り組むために	横浜国立大学名誉教授 西村 隆男

イ 静岡県 「平成 29 年度 消費者教育講師人材養成講座実施運營業務」

消費者教育の推進には、学校や地域における出前講座等のセミナーを開催することが効果的であるが、その担い手として期待される消費生活相談員は相談業務に忙殺され講師となることが難しい。特に小さな市町においては消費者教育を推進する体制が整っておらず、講師を派遣するシステムを構築する必要があるが、そのためには、まず消費者教育の講師となる人材を養成する必要がある。そこで、講師として必要な知識と講座の企画や人前で話をするスキルを身につけた人材を養成するための講座を実施した。

また、受講者の理解を深めるための講師用マニュアルを作成した。講師用指導マニュアルは、「消費者市民を育てる講師の為のパスポート」と題して講座と連動した内容構成とした（A4 サイズ、64 ページ）。マニュアルは、知識理解編と講師実践編、実践事例編、参考資料から構成され、消費者教育の講師として必要となる基本的な知識、学生、一般、高齢者の対象別に活用できる指導案等を盛りこんだ。また、受講者には、配布された資料を挟み込む専用バインダーも用意し、オリジナルな資料集が作れるように配慮した。

講座のカリキュラムは全 6 日で、前期の知識編は半日研修（平成 29 年 11 月 4 日、11 月 18 日、12 月 9 日、12 月 17 日）、後期の実践編は終日研修（平成 30 年 1 月 13 日、1 月 27 日）とし、最終回には各自が作成した講座プランを一人 5 分で発表した。修了者は静岡県消費者教育講師として認定され、次年度以降活動する予定。

なお、カリキュラムの詳細は以下の通りである。

【消費者教育講師人材養成講座 プログラム】

○ 前期：知識編（半日）

第 1 回 11 月 4 日（土） 場所：ペガサート A 会議室

日時	内容	講師
12：30～13：00	受付	
13：00～13：20	ガイダンス	公益財団法人消費者教育支援センター 総括主任研究員 柿野 成美
13：20～13：50	静岡県における消費者教育の推進について	静岡県くらし・環境部県民生活局 県民生活課
13：50～14：00	休憩	
14：00～16：00	消費者教育講師の心構え -消費者教育推進法を踏まえて-	横浜国立大学名誉教授 消費者教育支援センター客員研究員 西村 隆男
16：05～17：00	情報交換懇親会 (自己紹介タイム)	
12：30～13：00	受付	
13：00～14：30	静岡県における消費者行政の現状と消費者教育講師の役割	静岡大学教育学部教授 色川 卓男
14：30～14：40	休憩	
14：40～16：10	消費者市民社会の考え方・作り方	弁護士 島田 広
16：15～17：00	後期課程に向けたガイダンス	消費者教育支援センター客員研究員 西村 隆男

第2回 11月18日（土） 場所：ペガサートA会議室

日時	内容	講師
12：30～13：00	受付	
13：00～14：30	静岡県における消費者行政の現状と消費者教育講師の役割	静岡大学教育学部教授 色川 卓男
13：50～14：00	休憩	
14：40～16：10	消費者市民社会の考え方・作り方	弁護士 島田 広
16：15～17：00	後期課程に向けたガイダンス	消費者教育支援センター客員研究員 西村 隆男

第3回 12月9日（土） 場所：静岡県庁別館20階第一会議室A

日時	内容	講師
12：30～13：00	受付	
13：00～14：00	成年年齢引下げと未成年者の消費者被害—若年者が知っておくべき基礎知識—	弁護士 洞澤 美佳 (消費者庁高校生向け教材作成検討委員)
14：00～14：10	休憩	
14：10～15：10	高齢者の消費者被害と関連法—見守り者が知っておくべき基礎知識—	弁護士 伊藤 慧 消費者ネットしが(滋賀県弁護士会)
15：15～16：15	ネットトラブルの講座で伝えたいポイント	NPO法人 イーランチ理事長 松田 直子
16：15～17：00	県内での講師事例の紹介	参加者

第4回 12月17日（土） 場所：静岡県庁別館20階第一会議室A

日時	内容	講師
12：30～13：00	受付	
13：00～14：30	学校における消費者教育と外部講師への期待 - 新学習指導要領を踏まえて -	千葉県消費者教育コーディネーター 元千葉県立轟台小学校教諭 消費者教育支援センター客員研究員 庄司 佳子
14：30～14：40	休憩	
14：40～17：00	消費者教育指導法と指導案の作成方法について	消費者教育支援センター客員研究員 西村 隆男

○ 後期：実践編（終日）

第1回 平成30年1月13日（土） 場所：静岡県庁別館7階第2会議室A

日時	内容	講師
10：00～11：30	人前で話す時の注意点と講師の心構え	フリーアナウンサー 浜田 節子
11：30～12：00	発表内容（案）に関する意見交換	消費者教育支援センター客員研究員 西村 隆男
12：00～13：00	お昼休み	
13：00～14：30	ワークショップの企画とファシリテーションの基礎知識	子ども国連環境会議推進協議会 事務局長 井澤 友郭
14：30～14：40	休憩	
14：40～16：40	ワークショップの実践	子ども国連環境会議推進協議会 事務局長 井澤 友郭
16：40～17：00	次回の発表について	事務局

第2回 1月27日（土） 場所：静岡市民文化会館第一会議室

日時	内容	講師
10：00～10：10	発表に向けたガイダンス及びグループ間の意見交換	消費者教育支援センター 総括主任研究員 柿野 成美
10：10～12：00	発表及び意見交換 講評	消費者教育支援センター客員研究員 西村 隆男
12：00～13：00	お昼休み	
13：00～13：50	発表及び意見交換 講評	消費者教育支援センター客員研究員 西村 隆男
13：50～14：00	休憩	
14：00～14：50	発表及び意見交換 講評	消費者教育支援センター客員研究員 西村 隆男
14：50～15：00	休憩	
15：00～15：50	発表及び意見交換 講評	消費者教育支援センター客員研究員 西村 隆男
15：50～16：00	休憩	
16：00～16：20	意見交換会	消費者教育支援センター 総括主任研究員 柿野 成美
16：20～17：00	主催者挨拶及び修了証書授与式	静岡県くらし・環境部県民生活局 県民生活課

ウ 埼玉県「消費生活相談員等研修」

埼玉県内市町村の消費生活相談員と行政職員を対象に、大学の教授や弁護士等の有識者を講師に、消費者関係法の基礎知識、契約に関する相談事例研究、電気通信サービスや金融商品関連のトラブルへの相談対応等の研修を実施した。

○ 基礎研修

日時		テーマ	講師
11月7日 (火)	10:00～ 12:00	消費者関係法の基礎	国士舘大学教授 山口 康夫
	13:00～ 16:00	消費生活相談に必要な法律と相談事例の解説	

○ 専門テーマ研修

日時		テーマ	講師
11月27日 (月)	10:00～ 12:00	改正割賦販売法の知識と相談対応	弁護士 松苗 弘幸
	13:00～ 15:00	改正消費者契約法と相談対応	弁護士 佐々木幸孝
12月8日 (金)	10:00～ 12:00	民法改正が及ぼす消費者法への影響	弁護士 池本 誠司
	13:00～ 15:00	改正特定商取引法の知識と相談対応	
平成30年 1月13日 (土)	10:00～ 12:00	最近の不動産トラブル	TM不動産トラブル研究所 代表 村川 隆生
	13:00～ 15:00	SNS、フリマアプリに関するトラブル	(一社)EC ネットワーク 理事 原田 由里
1月17日 (水)	16:30～ 18:30	金融・投資商品トラブルと相談対応	弁護士 坂 勇一郎
	19:00～ 21:00	キャッシュレス決済の仕組みと資金決済法	山本国際コンサルタンツ 代表 山本 正行

日時		テーマ	講師
平成 30 年 1 月 24 日 (水)	10:00～ 12:00	介護サービスに係る契約と高齢者向け住まいについて	日本大学准教授 矢田 尚子
	13:00～ 15:00	個人情報保護法とマイナンバー制度	個人情報保護委員会
1 月 31 日 (水)	10:00～ 12:00	電気通信事業法の改正と電気通信サービス	野村総合研究所 上席コンサルタント 北 俊一
	13:00～ 15:00	旅行契約関連のトラブル	(一社)日本旅行業協会
2 月 23 日 (金)	10:00～ 12:00	美容医療に関するトラブルの現状と対応	東京都消費生活総合センター 美容等関連サービスグループ 主任相談員 吉岡八重子
	13:00～ 15:00	歯科治療と診察に関するトラブルの現状と対応	(公社)日本口腔インプラント学会 専門医・指導医 井上 一彦

エ 茨城県「消費者教育啓発講座」（消費生活相談員等向け、民生委員等向け）

茨城県内市町村の消費生活相談員と民生委員等を対象に、消費者教育・啓発活動の基礎的な実務知識等を習得するため、大学教授、消費生活相談員、消費者教育支援センター総括主任研究員等を講師に実施した。相談員等の研修は県内2ヵ所（水戸、土浦）で各2日間行い、民生委員等の研修は県内7ヵ所（常陸太田、ひたちなか、水戸、取手、土浦、筑西、潮来）で各1日実施した。

【消費生活相談員等向け研修】

地区名	日程・場所	時間	内容	講師	
県央 (水戸)	平成29年 12月15日 (金)	10:30～ 12:30	【講義】消費者教育の専門知識について	横浜国立大学教授 松葉口玲子	
	場所: 県水戸 生涯学習センター大講座室	13:30～ 15:30	【講義】地域で取り組む消費者教育について	千葉県消費者教育コーディネーター 庄司 佳子	
	平成29年 12月21日 (木)	10:30～ 12:30	【講義・演習】 消費者の特性に配慮した講座の 組み立て方と教材の活用法	(公財)消費者教育支援センター 総括主任研究員	
	場所: 県水戸 生涯学習センター大講座室	13:30～ 15:30	【グループ討議】 講座プランの作成とその検討について	中川 壮一 山元ひろみ 研究員	
	県南 (土浦)	平成29年 10月27日 (金)	10:30～ 12:30	【講義】消費者教育の専門知識について	横浜国立大学教授 松葉口玲子
		場所: 土浦市 亀城プラザ4 階第4会議室	13:30～ 15:30	【講義】地域で取り組む消費者教育について	千葉県消費者教育コーディネーター 庄司 佳子
平成29年 11月22日 (水)		10:30～ 12:30	【講義・演習】 消費者の特性に配慮した講座の 組み立て方と教材の活用法	(公財)消費者教育支援センター 総括主任研究員	
場所: ワークヒル土浦研修室2		13:30～ 15:30	【グループ討議】 講座プランの作成とその検討について	中川 壮一 山元ひろみ 研究員	

【民生委員等向け研修】

地区名	日程・場所	時間	内容	講師
県北 (常陸太田)	11月29日 (水) 場所：常陸太田市民交流センター大会議室	13:00～ 15:00	【講義】見守り活動者と高齢者・福祉機関との連携、最近の消費者トラブルと相談事例	消費生活専門相談員 大内美喜子
		15:00～ 16:00	【講義・演習】 地域で取り組む消費者教育	(公財)消費者教育支援センター 研究員 内藤 千鶴
県央1 (ひたちなか)	12月12日 (火) 場所：ワークプラザ勝田2階研修室2	13:00～ 15:00	【講義】見守り活動者と高齢者・福祉機関との連携、最近の消費者トラブルと相談事例	消費生活専門相談員 大内美喜子
		15:00～ 16:00	【講義・演習】 地域で取り組む消費者教育	(公財)消費者教育支援センター 研究員 内藤 千鶴
県央2 (水戸)	12月22日 (金) 場所：県水戸生涯学習センター大講座室	13:00～ 15:00	【講義】見守り活動者と高齢者・福祉機関との連携、最近の消費者トラブルと相談事例	消費生活専門相談員 大内美喜子
		15:00～ 16:00	【講義・演習】 地域で取り組む消費者教育	(公財)消費者教育支援センター 研究員 内藤 千鶴
県南 (取手)	12月5日 (火) 場所：取手市福祉会館3階講座室C	13:00～ 15:00	【講義】見守り活動者と高齢者・福祉機関との連携、最近の消費者トラブルと相談事例	消費生活専門相談員 大内美喜子
		15:00～ 16:00	【講義・演習】 地域で取り組む消費者教育	(公財)消費者教育支援センター 研究員 山元ひろみ
県南 (土浦)	12月7日 (木) 場所：ワークヒル土浦2階会議室	13:00～ 15:00	【講義】見守り活動者と高齢者・福祉機関との連携、最近の消費者トラブルと相談事例	消費生活専門相談員 前野 春枝
		15:00～ 16:00	【講義・演習】 地域で取り組む消費者教育	(公財)消費者教育支援センター 総括主任研究員 中川 壮一
県西 (筑西)	12月14日 (木) 場所：県西生涯学習センター小講座室2	13:00～ 15:00	【講義】見守り活動者と高齢者・福祉機関との連携、最近の消費者トラブルと相談事例	消費生活専門相談員 前野 春枝
		15:00～ 16:00	【講義・演習】 地域で取り組む消費者教育	(公財)消費者教育支援センター 総括主任研究員 中川 壮一
鹿行 (潮来)	12月19日 (火) 場所：潮来市中央公民館3階研修室	13:00～ 15:00	【講義】見守り活動者と高齢者・福祉機関との連携、最近の消費者トラブルと相談事例	消費生活専門相談員 前野 春枝
		15:00～ 16:00	【講義・演習】 地域で取り組む消費者教育	(公財)消費者教育支援センター 研究員 内藤 千鶴

オ 鹿児島県「消費者教育研修事業」

住民に最も身近な市町村が主体的に消費者教育に取り組めるよう、講座のニーズに応えられる人材の育成を目的として行われた。市町村の相談員及び行政担当者等が、主体的に地域や職域において消費生活講座等を開催できるよう実務的なノウハウの習得を支援する研修会を鹿児島会場、奄美会場2か所で開催した。

<鹿児島会場>

開催日 : 平成29年10月27日(金)

場 所 : 鹿児島県市町村自治会館402号室(鹿児島市鴨池新町7番4号)

対 象 : 県内市町村の行政職員、消費生活相談員

参加者 : 22名

<午前>

10:00-11:00 ガイダンス・消費者教育って何だろう?

(公財)消費者教育支援センター総括主任研究員 柿野 成美

11:00-11:50 消費者教育の具体事例をイメージしよう

(公財)消費者教育支援センター総括主任研究員 中川 壮一

11:50-12:00 鹿児島県における消費者教育の取り組み

12:00-13:00 休憩

<午後>

13:00-13:15 実践事例報告① 鹿屋市消費生活センター次長

花田 直幸

13:15-13:30 実践事例報告② さつま町 消費生活相談員

小松 幾代

13:30-14:00 教材紹介—ゲーム教材を体験してみよう

(公財)消費者教育支援センター総括主任研究員 中川 壮一

同上 柿野 成美

14:00-14:10 休憩

14:10-15:30 ワークショップ「ミニ出前講座を企画しよう」

(公財)消費者教育支援センター総括主任研究員 中川 壮一

同上 柿野 成美

15:30-16:00 発表・助言、参加者の意見交換

(公財)消費者教育支援センター総括主任研究員 中川 壮一

同上 柿野 成美

<奄美会場>

開催日 : 平成29年12月5日(火)

場 所 : 鹿児島県奄美市AiAiひろば(奄美市瀬名末広町14-10)

対 象 : 県内市町村の行政職員、消費生活相談員

参加者 : 7名

<午前>

10:00-11:00 ガイダンス・消費者教育って何だろう?

(公財)消費者教育支援センター総括主任研究員 柿野 成美

11:00-12:00 消費者教育の具体事例をイメージしよう

(公財)消費者教育支援センター総括主任研究員 中川 壮一

12:00-13:00	休憩		
<午後>			
13:00-13:40	鹿児島県の消費者教育の取り組み及び実践事例報告		
	鹿児島県大島支庁 大島消費生活相談所	中村まゆみ	
	同上	中村 由美	
13:40-14:10	教材紹介 ゲーム教材を体験してみよう		
	(公財) 消費者教育支援センター総括主任研究員	中川 壮一	
	同上	柿野 成美	
14:10-14:20	休憩		
14:20-15:30	ワークショップ ミニ出前講座を企画しよう		
	(公財) 消費者教育支援センター総括主任研究員	中川 壮一	
	同上	柿野 成美	
15:30-16:00	グループ発表、意見交換・講評		
	(公財) 消費者教育支援センター総括主任研究員	中川 壮一	
	同上	柿野 成美	

カ 宮崎県「教職員向け消費者教育研修モデル事業」

宮崎県内の小・中学校の教職員、学校での啓発活動を担う啓発実践者を対象に、消費者教育の実践事例の紹介等を内容とする研修を実施した。午前と午後で対象を分け、午前が中学校、午後が小学校を対象とした。研修では、消費者教育の必要性や基本的な考え方、学校における実践方法について、小・中学校での実際の実践事例の紹介や、具体的な教材の活用法について講義・演習を行った。

開催日 平成 29 年 7 月 31 日 (月) 10 : 00 ~ 16 : 00

場 所 都城市五十市公民館

時 間	テーマ	内 容	講 師
10:00~10:05	開講挨拶	午前の部	主催者
【中学校対象】 10:10~11:50 (70分)	【講義・演習】 ・消費者教育の基本的な考え方 ・学校における消費者教育の工夫	・消費者教育の必要性と学校での実践方法について、中学校での実践例、教材例を通して学ぶ。	(公財)消費者教育支援センター 総括主任研究員 中川 壮一
休憩 (5分) 11:20~12:20 (60分) 12:20~12:30 (10分)	【講義・演習】 ・中学校における実践事例 ・質疑応答 ・アンケート	・中学校における実践のコツについて、教科での実践事例や教材(商品選択と意思決定、消費者の権利と責任等)について学ぶ。	元埼玉県公立中学校教諭・小学校長、 (公財)消費者教育支援センター客員研究員 横山 和子
昼食・休憩 (12:30~13:30)			
13:30~13:35	開講挨拶	午後の部	主催者
【小学校対象】 13:35~14:45 (70分)	【講義・演習】 ・消費者教育の基本的な考え方 ・学校における消費者教育の工夫	・消費者教育の必要性と学校での実践方法について、小学校での実践例、教材例を通して学ぶ。	(公財)消費者教育支援センター 総括主任研究員 中川 壮一
休憩 (5分) 14:50~15:50 (60分) 15:50~16:00 (10分)	【講義・演習】 ・小学校における実践事例 ・質疑応答 ・アンケート	・小学校における実践のコツについて、実際の教科等での実践事例や教材(ものやお金の使い方等)について学ぶ。	元千葉県公立小学校長、 (公財)消費者教育支援センター客員研究員 庄司 佳子

キ 山口県 「消費者教育アドバイザー派遣事業」

山口県内の小学校2校を対象に実施した県主催のモデル事業「見て・聞いて・触れて学ぼう消費者教育事業」に、「消費者教育アドバイザー」として消費者教育支援センターの客員研究員を派遣した。消費者教育の視点での社会見学（酪農農家、牛乳生産者、大型小売店、道の駅等を見学）、社会見学を活用した公開モデル授業を市教育委員会等の協力のもと実施し、授業前後に検討会を3回実施した。

各校が実施した社会見学とモデル授業の内容については、県が実践事例集に取りまとめ、県内の学校等に配布する。

消費者教育アドバイザーを派遣した2校は下記のとおり。

- ・ 宇部市立小野小学校
（8月10日、8月25日、11月1日、11月24日、11月30日）
講師：（公財）消費者教育支援センター客員研究員 横山 和子
- ・ 下関市立小月小学校
（7月21日、8月18日、10月23日、11月22日、12月6日）
講師：（公財）消費者教育支援センター客員研究員 庄司 佳子

ク 東京都世田谷区「消費者カレッジステップアップ講座（後期課程）」

東京都世田谷区では区民講師養成講座として、ボランティア講師の養成に取り組んでおり、これまでも当センターにおいて、講師派遣を行ってきた。講座全体は、前期と後期に分かれており、当センター担当分は、前期課程修了者の中から希望者が学んだ知識を人に伝える技術・ノウハウをグループワーク形式で習得するものである。

- ・ 9月28日（木） 「消費者講座の展開例と教材」
講師：（公財）消費者教育支援センター総括主任研究員 中川 壮一
- ・ 10月12日（木） 「講座作成のためのグループ学習の進め方」
講師：（公財）消費者教育支援センター総括主任研究員 柿野 成美
- ・ 10月26日（木）、11月9日（木）、11月16日（木）、11月30日（木）、12月7日（木）
「グループ学習」
講師：（公財）消費者教育支援センター総括主任研究員 柿野 成美
- ・ 12月21日（木） 「グループ学習の成果報告・講評」
講師：（公財）消費者教育支援センター総括主任研究員 柿野 成美

ケ (独) 国民生活センター「教員を対象にした消費者教育講座」

小・中・高等学校等の教員を対象に、大学の教授や消費生活相談員、当センターの総括主任研究員等の有識者を講師に、中高校生のネットトラブルの現状や消費者教育の動向についての講義、小・中・高等学校等における消費者教育の実践報告、グループ別に消費者教育の指導案・教材を作成するグループワークを実施した。平成 29 年度は、従来の国民生活センター相模原事務所研修施設での教員講座に加え、徳島県においても教員講座（徳島独自の研修）を実施することとし、小・中・高等学校の教員に対し、さらなる学校現場における消費者教育の充実のため、より実践的な指導法等の習得を目指すこととした。

1. 開催日：相模原会場実施講座（①、以下①）

平成 29 年 8 月 22 日（火）～23 日（水）

徳島会場実施講座（②、以下②）

平成 29 年 7 月 26 日（水）

場 所：①（独）国民生活センター相模原事務所

②あわぎんホール（徳島県郷土文化会館）

2. カリキュラム

①相模原会場実施講座

12：40 ～ 13：00 受付・受講料等集金

13：00 ～ 13：25 オリエンテーション

13：25 ～ 14：05 【講義①】よりよい社会をつくる消費者教育の考え方・進め方
－消費者市民社会の構築に向けて－

梶山女学園大学現代マネジメント学部教授・日本消費者教育学会会長
東 珠実

14：05 ～ 14：50 【講義②】インターネット・スマホをめぐる子供たちのトラブルについて
（独）国民生活センター相談情報部 消費生活相談員 小山 麻子

14：50 ～ 15：00 休憩

15：00 ～ 15：45 【実践報告①】中学校技術・家庭科家庭分野における
クリティカルシンキングを育む学習指導法
埼玉県北部地区技術・家庭科教育研究会

埼玉県美里町立美里中学校教諭 砂川千津子

15：45 ～ 16：30 【実践報告②】高等学校公民科における消費者市民教育
－主体的な学びをいかに作り出すか－

栃木県立足利女子高等学校教諭 阿見 拓男

16：30 ～ 17：00 【説明】ワークショップの進め方について

消費者教育支援センター総括主任研究員 中川 壮一

17：00 ～ 17：30 チェックインおよび休憩

17：30 ～ 19：00 【夕食・情報交換会】※参加者の学校での取組みなど、相互の情報交換を行う。

19：00 ～ 20：30 【グループ別討議】※校種別、教科別のグループになり、翌日のワークショップに向けた情報交換や検討を行う。

助言者)

梶山女学園大学教授

東 珠実

埼玉県美里町立美里中学校教諭

砂川千津子

栃木県立足利女子高等学校教諭

阿見 拓男

消費者教育支援センター総括主任研究員

中川 壮一

消費者教育支援センター総括主任研究員

柿野 成美

<2日目>

7:30 ~ 8:30 朝食

8:30 ~ 9:00 チェックアウト

9:00 ~ 12:00 【ワークショップ】消費者市民社会をめざす消費者教育の指導例

前日のグループ別討議の検討結果を共有したのち、グループごとに分かれて「消費者市民社会」と関連した具体的なテーマについて検討し、指導案作成を通じて、指導方法について学ぶ。

助言者)

梶山女学園大学教授

東 珠実

埼玉県美里町立美里中学校教諭

砂川千津子

栃木県立足利女子高等学校教諭

阿見 拓男

消費者教育支援センター総括主任研究員

中川 壮一

消費者教育支援センター総括主任研究員

柿野 成美

12:00 ~ 13:00 昼食

13:00 ~ 15:00 【発表・講評】発表・質疑・講評 12分×8グループ 全体講評 15分
講評・助言)

助言者)

梶山女学園大学教授

東 珠実

埼玉県美里町立美里中学校教諭

砂川千津子

栃木県立足利女子高等学校教諭

阿見 拓男

消費者教育支援センター総括主任研究員

中川 壮一

消費者教育支援センター総括主任研究員

柿野 成美

15:00 閉講

15:15 ~ 16:15 【講義・商品テスト施設見学】 国民生活センター商品テスト部

②徳島会場実施講座

9:30 ~ 9:50	受付・受講料等集金		
9:50 ~ 10:10	オリエンテーション		
10:10 ~ 11:10	【講義①】若年層の消費者被害と契約の基礎知識 －民法改正を視野に入れて－		弁護士 洞澤 美佳
11:10 ~ 11:40	【講義②】消費者庁作成教材『社会への扉』の内容解説 消費者庁 消費者教育・地方協力課		坪田 郁子
11:40 ~ 12:40	休憩		
12:40 ~ 13:10	【教材を活用した実践報告①】公民科における教材の活用について 徳島県消費者情報センター研修生		坂田 雅也
13:10 ~ 13:40	【教材を活用した実践報告②】家庭科における教材の活用について 茨城県立神栖高等学校教諭		村上 睦美
13:40 ~ 15:05	【ワークショップ】教材を活用した指導案を作成しよう！ 平成28年度に消費者庁が作成した教材を用いた指導方法をグループに分かれて 議論し、その成果を共有することを通じ、高等学校での学習の充実を図る。 助言者) 徳島県消費者情報センター研修生 茨城県立神栖高等学校教諭 消費者教育支援センター総括主任研究員 消費者教育支援センター総括主任研究員		坂田 雅也 村上 睦美 中川 壮一 柿野 成美
15:05 ~ 15:15	休憩及び発表準備		
15:15 ~ 16:15	発表及び講評 助言者) 徳島県消費者情報センター研修生 茨城県立神栖高等学校教諭 消費者教育支援センター総括主任研究員 消費者教育支援センター総括主任研究員		坂田 雅也 村上 睦美 中川 壮一 柿野 成美
16:15 ~ 16:20	閉講挨拶		
16:20	閉講		

⑦ 消費者教育に関わる研修会への講師派遣

地方自治体等からの講師派遣依頼にもとづき、学校の教職員や行政関係者、消費生活相談員等を対象とする研修会に当センター職員を講師として派遣した。

日程	主催者	講座名	対象	人数	講師
6月8日	(独)国民生活センター	消費者行政職員研修職員講座(基礎コース)	消費者行政職員	84	(公財)消費者教育支援センター 総括主任研究員 柿野 成美
6月15日 ～16日	岐阜県県民生活相談センター	消費生活相談員等レベルアップ研修	消費生活相談員、 消費者行政職員	29	(公財)消費者教育支援センター 総括主任研究員 中川 壮一
6月27日	(独)国民生活センター	消費者行政職員研修職員講座(基礎コース)	消費者行政職員	84	(公財)消費者教育支援センター 総括主任研究員 中川 壮一
6月27日	埼玉県消費者団体連絡会	第1回県内消費者団体研修会	消費者団体関係者	54	(公財)消費者教育支援センター 総括主任研究員 柿野 成美
6月30日	静岡市生活安全課	地域の消費生活サポーター養成講座	消費生活サポーター	25	(公財)消費者教育支援センター 総括主任研究員 柿野 成美
7月7日	山梨県県民生活部消費生活安全課	山梨大学「消費生活論」	大学生	65	(公財)消費者教育支援センター 総括主任研究員 柿野 成美
7月12日	NPO 法人フェアトレード・ラベル・ジャパン	第10回ステークホルダー会合	企業関係者	107	(公財)消費者教育支援センター 総括主任研究員 柿野 成美
7月18日	(独)国際協力機構	ベトナム消費者保護行政強化プロジェクト研修	行政関係者	15	(公財)消費者教育支援センター 総括主任研究員 柿野 成美
7月19日	NPO 法人埼玉県消費者被害をなくす会	消費者被害防止サポーター全体フォローアップ研修	消費者被害防止サポーター	23	(公財)消費者教育支援センター 総括主任研究員 中川 壮一
7月25日	徳島県生活安全課	消費者教育研修講座	教職員	30	(公財)消費者教育支援センター 総括主任研究員 柿野 成美
7月28日	福岡県消費生活センター、福岡県教育センター	小・中学校及び高等学校教員向け講座	教職員	20	(公財)消費者教育支援センター 総括主任研究員 中川 壮一
7月28日	栃木県県民生活部くらし安全安心課	消費者教育教員向けセミナー	教職員	41	(公財)消費者教育支援センター 総括主任研究員 柿野 成美
8月3日	和歌山市市民生活課	消費者教育の最新情報と実践例	教職員、行政職員、相談員	30	(公財)消費者教育支援センター 総括主任研究員 柿野 成美
8月3日	岡山市消費生活センター、岡山市教育委員会	岡山市消費者教育教員研修会	教職員	124	(公財)消費者教育支援センター 総括主任研究員 中川 壮一
8月4日	岐阜県環境生活部県民生活課	岐阜県高等学校教育研究会家庭・福祉部会西濃地区研究会	教職員	15	(公財)消費者教育支援センター 総括主任研究員 柿野 成美

日程	主催者	講座名	対象	人数	講師
8月8日	宮城県環境生活部消費生活・文化課	消費生活セミナー	学生、企業、行政、教育関係者	100	(公財)消費者教育支援センター 総括主任研究員 柿野 成美
8月8日	群馬県生活文化スポーツ部消費生活課	家庭科教員等研修講座	教職員	34	(公財)消費者教育支援センター 総括主任研究員 中川 壮一
8月9日	千葉県環境生活部くらし安全推進課	授業で役立つ消費者教育研修	教職員	74	(公財)消費者教育支援センター 総括主任研究員 柿野 成美
8月9日	沖縄県子ども生活福祉部消費・くらし安全課	学校教育における消費者教育の担い手研修	教職員	19	(公財)消費者教育支援センター 総括主任研究員 中川 壮一
8月10日	全国高等学校長協会家庭部会	産業・情報技術等指導者養成研修	教職員	24	(公財)消費者教育支援センター 総括主任研究員 柿野 成美
8月17日	徳島県教育委員会	エンカル消費推進リーダー研修会	教職員、学生	114	(公財)消費者教育支援センター 総括主任研究員 柿野 成美
8月28日	岡山市市民生活局生活安全課消費生活センター	小学校教員向け消費者教育	教職員	39	(公財)消費者教育支援センター 総括主任研究員 柿野 成美
8月29日	山口県消費生活センター	金融消費者教育センター	教職員	39	(公財)消費者教育支援センター 客員研究員 横山 和子
9月1日	広島県環境県民部消費生活課	消費者教育担当者研修	行政職員、相談員	23	(公財)消費者教育支援センター 総括主任研究員 中川 壮一
9月6日	沖縄県子ども生活福祉部消費・くらし安全課	地域における消費者教育の担い手研修(那覇市)	行政職員、相談員、福祉関係者	21	(公財)消費者教育支援センター 総括主任研究員 中川 壮一
9月7日	沖縄県子ども生活福祉部消費・くらし安全課	地域における消費者教育の担い手研修(石垣市)	行政職員、相談員、福祉関係者	9	(公財)消費者教育支援センター 総括主任研究員 中川 壮一
9月7日 ～8日	(独)国民生活センター	消費者教育学生セミナー	大学生、大学院生	74	(公財)消費者教育支援センター 総括主任研究員 柿野 成美
9月12日	沖縄県子ども生活福祉部消費・くらし安全課	地域における消費者教育の担い手研修(宮古島市)	行政職員、相談員、福祉関係者	22	(公財)消費者教育支援センター 総括主任研究員 中川 壮一
9月13日	沖縄県子ども生活福祉部消費・くらし安全課	地域における消費者教育の担い手研修(名護市)	行政職員、相談員、福祉関係者政	8	(公財)消費者教育支援センター 総括主任研究員 中川 壮一
9月13日	吉川市民生委員・児童委員協議会	吉川市民生委員・児童委員協議会全大会	民生・児童委員	115	(公財)消費者教育支援センター 総括主任研究員 柿野 成美
9月22日	沖縄県子ども生活福祉部消費・くらし安全課	地域における消費者教育の担い手研修(沖縄市)	行政職員、相談員、福祉関係者	22	(公財)消費者教育支援センター 総括主任研究員 中川 壮一
9月26日	(独)国民生活センター	消費者行政職員研修職員講座(基礎コース)	消費者行政職員	30	(公財)消費者教育支援センター 総括主任研究員 中川 壮一

日程	主催者	講座名	対象	人数	講師
10月19日	(独)国民生活センター	消費者行政職員研修職員講座(徳島)	消費者行政職員	29	(公財)消費者教育支援センター 総括主任研究員 柿野 成美
10月20日	中部弁護士会連合会	中部弁護士連合会定期大会シンポジウム「消費者市民教育」	弁護士等	226	(公財)消費者教育支援センター 総括主任研究員 柿野 成美
10月31日	兵庫県生活科学総合教育センター、姫路市教育委員会	消費者教育コーディネータースキルアップ研修	教職員、行政職員	167	(公財)消費者教育支援センター 総括主任研究員 柿野 成美
11月22日	(一財)日本消費者協会	消費生活相談員等キャリアアップ研修(名古屋)	消費生活相談員	28	(公財)消費者教育支援センター 総括主任研究員 柿野 成美
11月27日	徳島県立阿南工業高等学校	エンカル消費について	教職員、学生	380	(公財)消費者教育支援センター 総括主任研究員 柿野 成美
11月28日	(独)国民生活センター	消費者教育推進のための研修消費者教育コーディネーター育成講座-	行政職員、相談員	25	(公財)消費者教育支援センター 総括主任研究員 柿野 成美
12月11日	日本生活協同組合連合会	商品活動交流会(大阪)	企業関係者	61	(公財)消費者教育支援センター 総括主任研究員 柿野 成美
12月14日	日本弁護士連合会	シンポジウム「お買い物で世界を変える～消費者市民社会の到達点とこれから～」	弁護士等	90	(公財)消費者教育支援センター 総括主任研究員 柿野 成美
1月12日	山形県環境エネルギー部危機管理・くらし安全局くらし安全課	消費者教育推進担当職員研究会	行政職員、相談員	29	(公財)消費者教育支援センター 総括主任研究員 柿野 成美
1月18日	埼玉県消費生活支援センター	子供の自立支援を目的とした消費者教育セミナー	民生・児童委員、児童養護関係者	37	(公財)消費者教育支援センター 総括主任研究員 中川 壮一
1月19日	世田谷区ひとえの会	第3回学習会	ひとえの会会員	25	(公財)消費者教育支援センター 総括主任研究員 中川 壮一
1月20日	札幌市市民文化局市民生活部消費生活課	教員を対象とした消費者教育講座	教職員、大学関係者	52	(公財)消費者教育支援センター 総括主任研究員 中川 壮一
1月30日	(独)国民生活センター	消費者教育コーディネーター育成講座(徳島)	行政職員、相談員	18	(公財)消費者教育支援センター 総括主任研究員 柿野 成美
2月6日	千葉市消費生活センター	消費者教育担当課担当職員向け研修会	行政職員、相談員	24	(公財)消費者教育支援センター 総括主任研究員 中川 壮一
2月7日	新潟市消費生活センター	消費者教育推進計画に関する庁内研修会	行政職員	13	(公財)消費者教育支援センター 総括主任研究員 中川 壮一
2月9日	静岡市消費生活センター	消費生活サポーター養成講座	消費生活サポーター	23	(公財)消費者教育支援センター 総括主任研究員 柿野 成美
2月27日	(独)国民生活センター	全国消費者フォーラム	一般市民		(公財)消費者教育支援センター 総括主任研究員 柿野 成美

日程	主催者	講座名	対象	人数	講師
3月12日	石川県消費生活支援センター	消費者のつどい	一般市民、高齢者	70	(公財)消費者教育支援センター 総括主任研究員 柿野 成美
3月16日	全国消費者団体連絡会	第56回全国消費者大会 食分科会	一般市民、高齢者	60	(公財)消費者教育支援センター 総括主任研究員 柿野 成美
3月20日	兵庫県立健康生活科学研究所	消費者教育コーディネーター スキルアップ研修	行政職員、相談員	60	(公財)消費者教育支援センター 総括主任研究員 柿野 成美
3月23日	香川県消費生活センター	消費生活コーディネーター 養成講座	行政職員、相談員	30	(公財)消費者教育支援センター 総括主任研究員 中川 壮一 柿野 成美

3. 表彰事業

①消費者教育教材資料表彰の募集

行政、企業・業界団体、消費者団体・NPO が作成した消費者教育教材資料（印刷資料、視聴覚資料、実験実習キット、Web サイト）の中から、学校で活用できる消費者教育教材資料を募集する。消費者庁、文部科学省、（公社）消費者関連専門家会議の後援を受け、平成 29 年 1 月 16 日から 3 月 24 日にかけて募集を行い、平成 30 年 4 月～5 月に選考委員会を 2 回開催し、優秀賞を選考する。また、前年度に優秀賞を受賞した教材資料の中から、学校の教員によるアンケート結果等をもとに、最も優れた教材に対して「内閣府特命担当大臣賞」を授与した。

平成 29 年度の選考委員は下記のとおり。

【委員長】	東 珠実	梶山女学園大学教授、日本消費者教育学会会長
【委員】	梶野 勇	シティグループ・ジャパン・ホールディングス合同会社 コーポレート・アフェアーズ部門長
	金子 浩之	消費者庁消費者教育・地方協力課長
	青木 正典	（独）国民生活センター教育研修部長
	工藤 穰治	東京都消費生活総合センター所長
	坂倉 忠夫	（公社）消費者関連専門家会議理事長
	庄司 佳子	元千葉県立轟小学校校長
	中村 正子	時事通信社文化特信部編集委員
	筒井 恭子	文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官

<平成 28 年度の消費者教育教材資料表彰の選考結果>

全国の行政、企業・業界団体、消費者団体・NPO が平成 29 年 3 月までに作成した教材資料で、学校で効果的に活用できる消費者教育教材資料を募集（募集期間：平成 29 年 1 月 16 日から 3 月 24 日まで）し、選考委員会を開催して優秀賞等を選出した。

行政部門 29 点、企業・業界団体部門 20 点、消費者団体・NPO 部門 7 点の計 56 点の応募があり、優秀賞 21 点と決定した。また、平成 27 年度に優秀賞を受賞した教材資料 21 点の中から、活用した教員によるアンケートの結果等をもとに内閣府特命担当大臣賞 1 点（消費者団体・NPO 部門）を決定した。

選考結果は次頁のとおり。

内閣府特命担当大臣賞

企業・団体名	種 類	教材資料名
特定非営利活動法人 開発教育協会	実験実習キット	写真で学ぼう！地球の食卓 学習プラン 10

優秀賞

行政部門	種 類	教材資料名
静岡県磐田市	印刷資料	家庭科副読本「ぼくもわたしもかしこい消費者」
大阪府消費生活センター	印刷資料	高校生向け消費者教育教材 「めざそう！消費者市民」
岡山県消費生活センター	印刷資料	社会生活授業パック 「毎日の生活で困ったとき どうすればいいかな？」
滋賀県	印刷資料	紙芝居「はるのたからもの」
長野県松本市	印刷資料	食品ロス削減啓発用紙芝居 「みんなでおいしくいただきます！ ～お皿ピカピカ大作戦～」
神奈川県	視聴覚資料	キミの行動が”社会”を変える
東京都消費生活総合センター	視聴覚資料	その情報、誰のもの？～情報社会と権利侵害～
名古屋市	視聴覚資料	消費者市民教育用DVD教材 「尾木ママと子どもたちの 消費者の芽なごやかな消費者市民社会」
滋賀県	実験実習キット	すごろく「滋賀県消費生活ゲーム」
浜松市	実験実習キット	第5学年「筆箱を選ぼう」 第6学年「じゃがいもを選ぼう」 －消費者市民になろう！－
仙台市	Webサイト	伊達学園 授業でござる
東京都消費生活総合センター	Webサイト	カートくんの買い物★なびげ～しょん －「消費者の権利と責任」の社会－

企業・業界団体

企業・団体名	種 類	教材資料名
一般社団法人生命保険協会	印刷資料	社会保障制度と保険のキホンについて学ぼう！
一般社団法人全国銀行協会	印刷資料	シリーズ教材 お金のキホン
株式会社 NTT ドコモ	視 聴 覚 資 料	「スマホ・ケータイ安全教室」アニメーション教材
KDDI 株式会社	視 聴 覚 資 料	スマホ・ケータイ安全教室 DVD (学校向け) 模擬講座と教材データ
株式会社チクマ 服育 net 研究所	実 験 実 習 キット	制服の一生すごろく
LINE 株式会社	実 験 実 習 キット	情報モラル教材 ワークショップ「楽しいコミュニケーション」を考えよう! カード版

消費者団体・NPO など

消費者団体・NPO 部門	種 類	教材資料名
特定非営利活動法人 えひめ消費者ネット啓発グループ ひめまる	印刷資料	小学生向け消費者教育副読本 「小学生も消費者」
特定非営利活動法人 開発教育協会	実 験 実 習 キット	コーヒーカップの向こう側
特定非営利活動法人 なら消費者ねっと	実 験 実 習 キット	おこづかい帳セット

4. 賛助会員向け事業

消費者教育支援センターの活動趣旨に賛同し、運営面で支援して下さる賛助会員等を対象に消費者教育研究会を開催し、消費者教育・消費者政策に関する今日的な問題をテーマに研究・討議および情報交換を行った。

<第1回>

日 時：平成 29 年 6 月 8 日(木) 12:30~13:40

場 所：全国婦人会館 2階会議室

講 師：(独)国民生活センター 理事長 松本 恒雄

テーマ：「国民生活センターの最近の動向と平成 29 年度の重点施策-徳島での事業展開も含む」

<第2回>（消費者教育シンポジウムとして実施）

日 時：平成 29 年 6 月 26 日(月) 10:30~16:30

場 所：国立オリンピック記念青少年総合センター

講 師：相山女学園大学教授、日本消費者教育学会会長 東 珠実

文部科学省初等中等教育局教育課程課 課長補佐 小林 努

姫路市教育委員会 管理指導主事 北村 純一

姫路市立豊富中学校教諭 柏木 麻里、坪内 明子

テーマ：「学校における消費者教育の最前線-次期学習指導要領の実施に向けて-」

<第3回>

日 時：平成 29 年 9 月 27 日(水) 12:30~13:40

場 所：全国婦人会館 2階会議室

講 師：(独)国民生活センター相談情報部長 鈴木 基代

テーマ：「国民生活センターにおける消費生活相談の現状と課題」

<第4回>

日 時：平成 29 年 11 月 16 日(木) 12:30~13:40

場 所：全国婦人会館 2階会議室

講 師：内閣府 消費者委員会事務局 参事官 丸山 達也

テーマ：「消費者委員会が取り組む重点施策について」

<第5回>

日 時：平成 30 年 2 月 21 日(水) 12:30~13:40

場 所：全国婦人会館 2階会議室

講 師：東京都消費生活総合センター 所長 工藤 穰治

テーマ：「最近の消費者相談の傾向と消費者教育の取組み」

平成 29 年度事業報告の附属明細書

平成 29 年度事業報告には、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第 34 条第 3 項に規定する附属明細書については、事業報告の内容を補足する重要な事項が存在しないことから作成していない。

平成 30 年 6 月

公益財団法人消費者教育支援センター

平成 29 年度事業報告の附属明細書

平成 29 年度事業報告には、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第 34 条第 3 項に規定する附属明細書については、事業報告の内容を補足する重要な事項が存在しないことから作成していない。

平成 30 年 5 月

公益財団法人消費者教育支援センター